

(別紙2)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成21年12月11日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3992600050
法人名	社会福祉法人 愛生福社会
事業所名	グループホーム ほうばい
所在地	〒787-0802 高知県幡多郡三原村宮ノ川1420-5
自己評価作成日	平成21年8月16日
評価結果市町村受理日	平成21年12月16日

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	高知県社会福祉協議会
所在地	〒780-8567 高知県高知市朝倉戊375-1 高知県立ふくし交流プラザ
訪問調査日	平成21年9月8日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://kaigo.pippikochi.or.jp/kaigosip/informationPublic.do?JCD=3992600050&SCD=32
-------------	---

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

私たちは、入居者に、住み慣れた地域で昔からの「ほうばい」とともに「和み」「ゆとり」がある生活を送っていただくよう努めています。また、「開かれた事業所、気軽に立ち寄っていただける事業所」を運営目標として、地域の皆様の協力を得ながら地域に根ざしたホームの運営に取り組んでおり、近隣の方から農作業を習ったり、顔見知りの入居者に声をかけていただくなど、日常的に交流しています。また、調理を地元のNPO法人に委託し、地産地消の視点を大切にした食事を提供していただいています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

管理者は訪問看護の経験を活かし、地域との馴染みの関係を築いており、近隣の住民に畑作業の助言をもらうなど日頃から交流し、地域のお祭り等の見学や小中学校の行事に参加するとともに、地産地消の視点で利用者の食事提供を地域のNPO法人に委託し、おやつや行事食の時は利用者も一緒に準備するなど、地域密着型サービスの趣旨に沿った運営に努めている。また、ターミナルケアや防災への取り組みを通じ、家族等との信頼関係も築けている。利用者は広い共用空間や居室でゆったりと過ごしており、事業所開設から2年目を迎え、今後益々の発展が期待される。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所名の「ほうばい」が表すとおり、利用者の方々が地域の中で長く親しんだ人たちと和やかに、ゆったりと過ごせるよう、具体的なケアについて話し合い、職員間で共有して取り組んでいる。	法人の理念のもとに、事業所独自の理念を職員で話し合い作成している。理念は毎月の職員会や日々、折にふれて職員間で話し合い意識づけている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域のクリーンデーや催事、保育園、学校等の行事に参加している。また、日常的に散歩、買い物に出かけており、地域の人たちとあいさつを交わすなど、近隣の方々とふれあう機会を多く持つようにしている。	自治会に加入し、村の一斉清掃、どぶろく祭りや運動会等、地域の行事に参加している。また、散歩中に地域の人達とあいさつを交わしたり、事業所の野菜づくりを手伝ってくれたり、隣近所の人達が立ち寄ってくれるなど、日常的に交流している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	法人が受け入れている実習生の実習場所として人材育成の協力をしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2カ月に1回開催し、事業所の運営状況を知っていただくとともに、より良いサービスの向上に向けて助言、指導をいただいている。また、事業所運営に協力をいただいている。	運営推進会議は、役場や包括支援センターの職員、民生委員、警察の駐在員、家族代表、地域代表が出席して2カ月ごとに行われている。会議では入居者や事業所の状況報告が行われているが、会議録に出席者名、話し合いが行われた内容や委員の意見の記録がない。	運営推進会議の会議録として、出席者、話し合った内容や委員の意見を記録しておくことが求められる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>運営委員会を通して現状を知っていただくと共に、村職員・民生委員会の研修に活用していただくなどして交流を図っている。</p>	<p>日頃から役場の職員とは顔馴染みであり、色々な話や相談ができるなど、関係づくりができています。また、民生委員の勉強会を事業所で行ったこともある。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>法人主体の身体拘束廃止委員会が開催され、各現場で身体拘束をしないケアを徹底してうる。玄関は日中は施錠していないが、早朝、夜間はメロディーセンサーを設置している。</p>	<p>毎月、法人全体の身体拘束勉強会に職員が出席して検討事例を持ち帰り、伝達講習を通じて意識づけを行い、身体拘束をしないケアに取り組み、リスクについても家族に説明している。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>身体拘束廃止委員会で虐待の防止について話し合い、各現場に持ち帰り、日常のケアで利用者の言動に対しての受け答えはどうかなど、具体的に例を出して職員同士で検討し、虐待防止に取り組んでいる。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>現在、この制度を必要とする利用者はいないが、勉強会で取り上げ理解を深めるよう努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	事業所の現状、利用料金、ターミナルケアを含めた医療連携など、納得が得られるよう、十分時間を取り説明している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	電話や面会の機会を捉えて気軽に話し合える雰囲気づくりを心がけている。出された意見、要望は職員間で話し合い、統一した対応ができるよう努めている。	少なくとも月1回は家族の来訪時等に、利用者の様子を話したり家族の意見等を聞いている。今のところ特に苦情はない。また、家族会はないが作る検討をしている。	家族は身内がお世話になっているということから、意見や要望等を言い出し難いため、気軽に意見等を伝えられる機会、例えば、家族会の結成、第三者委員の設置など、検討されることを期待したい。
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ミーティング、勉強会、申し送りなどを利用して意見を聞くよう努めている。また、休み時間もコミュニケーションの場として利用し、提案等はできることから運営に取り入れるよう努めている。	職員会やミーティングの時などに、職員の意見や利用者の入退所などについて話し合われている。開設一年目で、職員の意見は少ないが管理者は職員の意見を聞く努力をしている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	更衣室にソファベッド等を置き、ゆとりを持って休憩できるようにしている。また、資格取得を促すなど、仕事への向上心が持てるよう支援している。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内の研修だけでなく、外部研修等は積極的に参加するよう勧めている。スキルアップや資格取得に向けての助言等行いながら、勤務の調整や公務扱いにするなど、できる限りサポートしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	法人内のグループホームとの交流のほか、法人外の事業所、職員と交流していくことで、サービスの質の向上に繋がるよう努めている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前面談で、ご本人と十分話し合いのできる時間を設け、心身の状態、生活状況を十分把握し、ご本人の安心感の確保と職員との信頼関係が築けるよう努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の思い、今まで介護されてきたご苦労などゆっくりと傾聴することにより、今後どのような方法がご本人、ご家族にとってよりよい状況か話し合うことで信頼関係が築けるよう努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談時は、当事業所だけでなく、近隣の施設やヘルパー・デイサービス等の利用の仕方など説明することで、ご本人、ご家族の状況にあったよりよい方法を選択できるよう努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者一人ひとりの特性、不安、喜びなどをできる限り理解し、分かち合い、また、梅酒作り、農作業など指導してもらいながら、共に支え合える関係が持てるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>利用者の日々の様子を、面会時等を利用してお伝えし、意見等も伺いながらご家族の思いに寄り添っているよう努めている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>友人、知人の方に電話をかけた、手紙を書いたり、できるだけ今までと同じ関わりがもてるよう支援している。また、友人、知人が気軽に訪問してもらえうような雰囲気づくりを心がけている。</p>	<p>入居前からの馴染みの店におやつを買いに行ったり、散歩がてらに自宅周辺に出向くなど、地域との関係を断ち切らないように支援している。また、面会の家族が他の入居者に気軽に声をかけたり、友人や近隣の方々が立ち寄ってくれる等、関係が続けられるよう支援している。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>食堂やホールの座る場所などを固定せず、好きなように座って利用者同士が気軽に話し合えるよう、孤立する利用者がいないよう調整役となり支援している。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>退居後もご家族と連絡を取り合い、信頼関係が保てるよう努めている。また、週1回、入院お見舞いに行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々一緒に生活していく中で、本人が希望を表出しやすい声かけや対応を心掛けている。うまく表出できない方については、表情や言動を観察することにより把握できるよう努めている。	日々の関わりのなかで声をかけ、昔の思い出話などの会話を通して本人の思いの把握に努めている。また、意思疎通が困難な方については家族や知人・友人、入所前に関わりのあった方から情報を得たり、言動や表情から把握するようにしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人や家族から利用開始時、面会時を利用し、生活歴やこれまでの経過等について話を聞き、把握するよう努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者一人ひとりの生活リズムを理解し、小さな変化も見逃さないように努め、本人の全体像を把握するようにしている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日々の関わりの中で、利用者、家族の意見、思いを聞き介護計画に反映させるよう努めている。また、月1回、全職員でモニタリング、カンファレンスを行い、利用者がより良い生活ができるよう努めている。	毎月の勉強会でモニタリング、カンファレンスを行い、問題があれば見直している。基本的には本人、家族の意見を聞いて、長期6カ月、短期3カ月で見直している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個別ファイルに、食事、水分量、排泄状況、身体状況及び日々の暮らしの様子や言動を記録し、いつでも全職員が確認できるようにしており、勤務開始前に確認している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々に見えるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>利用者、家族の状況に応じて、通院や送迎等、必要な支援は行うようにしている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>民生委員、警察の方にも運営委員会に参加していただいて、意見交換を行っている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>内科・歯科とも、月2回協力医の往診があり、症状に応じて随時対応してくれている。利用者、家族から他の病院の受診希望がある時は、適切に医療を受けられるよう支援している。</p>	<p>協力医療機関の往診が月2回ある。検査や他の診療科への受診は、基本的に家族に同行してもらうが、都合が悪い時は職員が対応している。受診時の情報は、付き添った家族や職員から報告してもらい共有している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護ステーションと契約し、訪問看護連絡表を作成するとともに、日々の健康管理や医療面で相談したり、指導を受けている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	利用者、家族に事業所の対応について説明し、病院での治療方針に沿って支援しながら、主治医等とも十分話し合いを持ち、本人、家族の気持ちが反映されるよう支援している。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	利用開始時にターミナルケアについて事業所ができることを十分説明し、終末期の対応について希望を聞いている。また、終末期を迎えた場合は、再度ターミナルケアについて話し合い、本人、家族の希望に添えるよう支援している。	重度化や終末期の対応方針を定め、入居時には説明を行い、本人や家族の希望も聞き、同意も取っている。また、ターミナルケアのマニュアルを作成し、安心して納得した最期が迎えられるよう取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時の対応についてマニュアル作成し、勉強会を通じて周知徹底をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	運営委員会などで現状報告し、災害時にどのような支援体制が必要であるか知ってもらい、村の避難場所など確認して災害に備えている。協力者として、事業所を退職した職員や近隣在住の看護師に依頼している。	避難訓練は事業所で消防の協力を得て行っているが、地域住民は参加していない。消火機器は定期的に点検が行われ、備蓄食品は三日分の献立に基づき、主食、副食、水・おやつ等の非常用食品を入所者数分準備している。	災害時の避難には、地域住民の協力は欠かせないので、地域住民の参加による避難訓練を実施することを期待したい。
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者の気持ちを大切に考え、さりげない言葉かけをしたり、年長者として敬意を払いケアを行うよう心がけている。	法人内研修等を通じて人格の尊重とプライバシーの確保について徹底し、ており、日々のケアの中で誇りやプライバシーを損ねない取り組みを実践している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者の生活歴や経験を念頭に、日々の会話や表情から思いを把握し、利用者が自分の意志を表出できるよう働きかけ、自己決定ができるよう支援している		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	1日の日課は決めているが、食事やその日に何をしたいか、利用者一人ひとりのペースに合わせ、希望に沿った暮らしを支援している。行事の場合は利用者と事前に話し合うよう心がけている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	利用者の好みの服を家族に準備してもらい、更衣時には本人に選んでもらうよう支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	NPO三原いきいき会に委託しており、季節感や地域性に配慮してもらい、また、利用者の意見を聞きながら献立を考え、食べやすい料理となるよう話し合っている。	食事はNPO三原いきいき会に委託して、元シェフの方が地域でとれた米や野菜など地産材料を使って、利用者の好みや体調に応じた食事が提供されている。おやつ作りや夕食後の片付け、また、月1回の行事食の買い物や調理は、利用者と一緒にやっている。	献立については専門的な観点から法人内の栄養士等に定期的に助言をもらうことが期待される。
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分補給量、体重、嗜好品を把握するとともに、毎食の摂取量を確認している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後にハミガキをしている。十分にできない利用者の状態に合わせて手伝っている。また、協力歯科医から定期的に検診、指導を受けている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を使用し、自尊心を傷つけないよう声かけしてトイレでの排泄を支援している。紙パンツやパット類は、個々の排泄状態に合わせて利用している。	利用者の自立度に応じて、排泄チェック表でパターンを把握してトイレ誘導を行っている。また、使用者の状態に合わせて、排便が多い時のみおむつを使用したり、尿漏れ対応としてパットを使用している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄記録をもとに、水分補給や運動、腹部マッサージを行い、個々の状態に合わせて自然排便を促す工夫をしている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	午後2時から毎日入浴できるよう準備し、入りたい時間に入ってもらっている。仲の良い人は一緒に入ったり、一人で入りたい人は個別に入ってもらい、介助が必要な方は状態に応じて支援している。	基本的には、2日に1回午後2時から夕食までに入浴しているが、毎日入りたい利用者、一人がいい利用者、仲良しと入りたい利用者など、希望に合わせた支援を行っている。入浴を拒否する利用者には、声かけやタイミング、職員が交代する等、無理強いすることなく入浴してもらえるように支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	散歩や体操、家事などなるべく日中の活動で生活リズムを整え、ゆっくり休息できるよう支援している。眠剤を服用している方については、日中の活動に影響を与えないよう十分観察し主治医と話し合いながら服薬を行っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋はケース毎に整理し、薬の変更の際は、全職員にわかるよう連絡帳に記入している。服用時は、一人ひとり手渡し服用を確認している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>保育園、小中学校の運動会、村の行事などに参加するよう利用者と話し合いながら行っている。また、畑、田圃の作業を通して経験を生かせるよう努めている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>日々の散歩の場所は利用者の希望で決めている。近くの施設に入所されているご主人への面会、自宅訪問、買い物など、それぞれの希望に沿って外出できるよう支援している。</p>	<p>日常的に近くの神社まで散歩したり、買い物に出かけるなど支援している。また、毎月の行事食の買い物や、花見、どぶろくまつり等の行楽行事にはバスで出かけるなど支援している。車いすの利用者も日常的に事業所の近くを散歩している。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>利用者の状況に応じて本人が少額管理したり、事業所で管理している。買物時には、利用者本人が支払いできるよう支援している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>希望があればいつでも好きな時に手紙が書けるよう支援している。電話も、いつもかける相手の番号を解りやすくまとめ気軽にかけるよう支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者の意見も反映させながら、利用者が使いやすいように家具の配置を行っている。</p>	<p>食堂兼リビングは天井高く広くゆったりとした共用空間となっている。リビングから戸をあけると段差なくテラスに出ることができ、軒には民生委員が苗を持ってきて植えてくれたゴーヤが育っている。玄関前の庭には季節の野菜や花が植えられている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>食堂、居間は一体的な造りであるが、利用者それぞれが好きな場所を選び過ごせるよう工夫している。</p>	/	
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用開始時に日々使い慣れた物を持ってきていただけるよう協力を求めている。利用開始後も、生活状況を観察しながら、安らぎが得られるよう努めている。</p>	<p>居室は広くトイレ、洗面所が各部屋に備え付けられている。家族の方が居室の一部に畳を敷いたり、テレビや姫鏡台、家族の写真や好きな歌手のカレンダーを貼るなど、本人が居心地よく過ごせるように工夫されている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>利用者それぞれの身体状況にあわせ手すりを設置するなど、環境整備に努め、不安、混乱を招かないよう支援している。</p>	/	

V アウトカム項目		ユニット名：	
項 目		該当するものに○印	取り組みの成果
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1. ほぼ全ての利用者の
			2. 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1. 毎日ある
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

項 目		該当するものに○印	取り組みの成果
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：2, 20)	○	1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1. 大いに増えている
			2. 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない